

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： CG 技術によるインタラクティブな 3D モデリング支援

2. 個人研究者名

中島 一崇 (科学技術振興機構 さきがけ研究者)

3. 事後評価結果

本研究は、3次元CG(Computer Graphics)に関連する課題を解消する仕組み(フレームワーク)の構築を目指した。具体的には、通常は複雑な手順となる3次元CGに対する機能追加が容易にできること、また、汎用的なフレームワークを整備し、研究者が手軽に利用できる手段を開発することであった。

結果として、研究で広く利用されているC++による実装をほとんど直接流用可能となり、クリエイターはブラウザさえあればOS、デバイス問わず利用可能とできる仕組みの構築ができた。

成果として、完成度の高いオーサリングプラットフォームが構築できている点が評価できる。また、研究成果のproduct-out的な発想とは真逆の目標設定であり、さきがけの成果としてこのような活動が成功することは極めて重要であると思われる。

ただし、クリエイターからのフィードバックはまだ収集できていないため、意図した価値を正しく提供できているか、今後どう改善すべきかを見極めて頂きたい。